



時事通信社

官庁速報

104-8178 発行所 東京都中央区銀座5-15-8
TEL: 03-6800-1111 (代表)
昭和31年9月25日 第三種郵便物認可
日刊 (但し土・日・祝日を除く)
購読料金 1ヶ月 504,000円 (消費税等を含む)

©時事通信社 2006

平成十八年八月三十一日 (木) 第一五三九九号

ニュース・アップ

健康づくり大学、初の常設キャンパス

経済産業省所管の民間活力開発機構 (里敏行理事長) は、同機構が各地で進めている「健康づくり大学」事業で、九月五日に長野県大町市内で初の「常設キャンパス」を開設する。同市内にある民間ホテルを拠点として、温泉、レストラン、プール、ゴルフ場などの施設を宿泊しない地域住民にも開放し、いつでも専門家のアドバイスを受けながら、自らの体調に合った最適な健康づくりができる態勢を整える。

記事の複製禁止について「官庁速報」掲載の記事、資料を時事通信社に無断でコピーなどにより複製することはできません。部内、部外用を問わず無断で複製した場合は民法上の不法行為として損害賠償責任を問われ、また著作権法により罰せられますのでご注意ください。

◎健康づくり大学、初の常設キャンパス

―長野・大町市に来月5日開講―民活機構―

経済産業省所管の民間活力開発機構（里敏行理事長）は、同機構が各地で進めている「健康づくり大学」事業で、九月五日に長野県大町市内で初の「常設キャンパス」を開設する。同市内にある民間ホテルを拠点として、温泉、レストラン、プール、ゴルフ場などの施設を宿泊しない地域住民にも開放し、いつでも専門家のアドバイスを受けながら、自らの体調に合った最適な健康づくりができる態勢を整える。

健康づくり大学は、健康志向で活動的な中高年と滞在客の減少に悩む温泉地を結び、地域活性化や関連産業の育成、雇用の創出などを図るソフト事業。自治体と同機構が連携し、泉質、自然環境、食材、運動施設、文化環境といった地域の資源を最大限活用し、温泉療養を構成する入浴、食事、運動、環境の四療法を組み合わせたプログラムを開発・実践して健康づくりに役立てる。

これまでも期間限定で一―三泊程度の「短期キャンパス」が群馬県草津町、神奈川県箱根町で開講された。いつでも参加できる常設キャンパスは初めてで、大町市の大町温泉にある関西電力の子会社・関電アメニクスが経営する「くろよんロイヤルホテル」が舞台。事業の運営は、ホテルと市の観光協会、旅館組合、商工会議所、福祉団体などが推進協議会をつくり、市と関電、民活機構と連携して進める。

ホテルの一部を改造して同大学の専用カウンターを設置し、利用者に合った温泉療養プログラムの相談に乗るコーディネーター、プールでの水中運動などを指導するインストラクターらを配置。高血圧や腰痛、肥満といった症状に応じた温泉の入り方や、温泉地での過ごし方、運動法などを提案する。食事では地元の素材を使い、カロリーも三食で千八百キロ^{ワット}と配慮された健康食を提供し、食材のデータはホテル内の情報コーナーで調べることができる。

常設キャンパスでは、長期滞在、短期滞在、日帰り、地元住民の長期的な継続利用をはじめ、多様なニーズに対応する。地域の民間非営利団体（NPO）もサポーターとして参画し、森林浴のガイドなどを担う。

開講を記念した実践講座として九月五―八日、大町周辺の地域資源を活用した二泊三日の滞在プログラムを二班に分けて開催。一般参加者、同機構、自治体関係者ら延べ三百人程度が常設キャンパスを体験する。

講座では、温泉療法と健康づくりに詳しい医師や栄養士らによる温泉療養学の実践セミナーのほか、プールでの水中運動、森林浴、温泉体操、ウォーキング、音楽療法、健康相談、地元関係者による郷土芸能や民話の披露などを予定。開講の前後には、体重、血圧、体脂肪率などを測定し、健康づくりの成果を医学的にチェックする。

問い合わせは同機構、電話03（3543）8777まで。